Mac-House

資金調達に関する補足説明資料

2025年8月6日 | 株式会社マックハウス

詳細は、2025年8月6日の開示資料「第三者割当による第11回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」を参照ください。

Mac-House

１．　本資金調達の目的と背景

２．　本資金調達の概要

３．　本資金調達の資金使途

４．　本資金調達に関するＱ＆Ａ

Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

1. 本資金調達の目的と背景

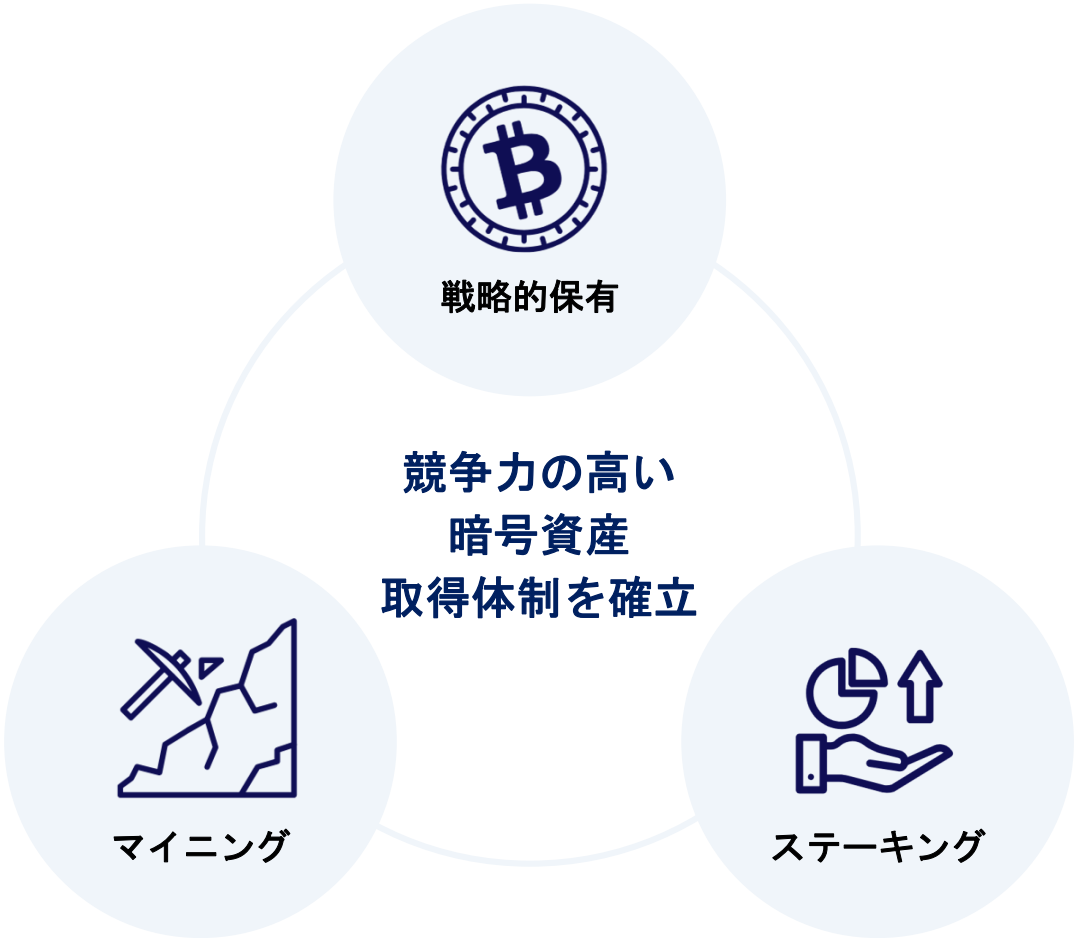
暗号資産関連事業へ投資を行うことで、新たな非線形の収益源を確立

当社は、ビットコインを戦略的に保有・運用しつつ、マイニング事業やステーキング等の暗号資産関連事業へ投資を行うことで、**新たな非線形の収益源を確立**します。これにより、**既存のアパレル・ライフスタイル事業との相互補完的な複合経営モデルを構築し、変化の激しい市場環境においても持続的な成長を実現**してまいります。

ビットコインを「デジタルゴールド」と位置づける長期的な資産運用戦略と、マイニングによる能動的な収益獲得を両立させることで、企業の資産価値構造と収益基盤の双方を強化し、中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。また、マイニング事業とは、 ビットコインなどの暗号資産における取引の承認作業（ブロックの生成）を行い、その対価として新たに発行される暗号資産を報酬として得る仕組みです。

当社は、**自社でマイニング設備を構築し、電力効率や運用体制を最適化することで、安定的かつ競争力のある暗号資産の取得体制を確立してまいります**。

7月11日開示：「ビットコイントレジャリーを中核に据えた多角化による持続的成長戦略」より



Mac-House Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

1. 本資金調達の目的と背景

本資金調達により、
新規事業の開発及び設備投資を実施

アパレル事業とのバランスを取りながら、変化の激しい経済環境下においても柔軟かつ機動的に成長を遂げることが可能な体制を構築するという背景のもと、今回の資金調達は、当社が掲げる**「ビットコイントレジャリーを中核に据えた成長戦略」 を実行に移すため**のものであり、**暗号資産の取得及びマイニング事業への投資を通じて、中長期的な企業価値の向上と財務基盤の強化を図る**ことを目的としております。

戦略的保有

長期的な資産形成及び、
資本効率の最大化を目指します。

マイニング

強固なマイニングインフラを構築し、
ビットコイン保有に係る競争力強化を図ります

本資金調達の目的

Mac-House Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

Mac-House

1．　本資金調達の目的と背景

2．　本資金調達の概要

3．　本資金調達の資金使途

4．　本資金調達に関するＱ＆Ａ

Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

２．本資金調達の概要

調達の日程及び基本条件等

取引内容	第11回新株予約権（行使価額修正条項付）
割当予定先	EVO FUND
発行株数（新株予約権個数）	5,400,000株（54,000個）
調達予定金額	約23.5億円
発行決議日	2025年8月6日
発行・払込日	2025年8月22日
行使価額の修正	2025年8月25日に発行決議日終値×100%に修正し、 2025年8月26日以後3取引日毎に直前3取引日終値の平均値×100%に修正
行使請求期間	2025年8月25日～2026年8月25日

※ 調達予定金額は、あくまでも現時点での株価をもとに算出しており、今後の事業推進の進捗状況により、調達予定金額は変動いたします。

Mac-House Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

Mac-House

１．　本資金調達の目的と背景

２．　本資金調達の概要

３．　本資金調達の資金使途

４．　本資金調達に関するＱ＆Ａ

Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

３. 本資金調達の資金使途

本第三者割当による調達資金により、**中長期的な企業価値の向上**と**財務基盤の強化**を図ることを目的としております。

調達予定総額　約23.5億円

ビットコイン・暗号資産購入資金

13億円

2025年9月～2026年8月

当社は、ビットコインを「デジタルゴールド」と位置づけ、財務戦略の一環として計画的かつ機動的な購入を実施することで、長期的な資産形成及び資本効率の最大化を目指します。

- **ドルコスト平均法**
- **市場価格下落時に一括購入**

価格変動リスクの平準化と中長期的な企業価値向上

マイニング事業への投資資金

10.5億円

2025年11月～2026年8月

暗号資産取得手段の多様化及び安定的なビットコイン取得体制の確立を目的として、マイニング事業への新規参入を決定いたしました。

- **ネットワーク環境整備**
- **データセンター拠点確保**
- **マイニングインフラを構築**

ビットコイン保有に係る競争力強化

本資金調達は当社が掲げる**「ビットコイントレジャリーを中核に据えた成長戦略」を実行に移す**ためのものであります。

Mac-House Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

Mac-House

１．　本資金調達の目的と背景

２．　本資金調達の概要

３．　本資金調達の資金使途

４．　本資金調達に関するＱ＆Ａ

Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

４．本資金調達に関するＱ＆Ａ

質問	回答
調達する資金の使途は何ですか？	ビットコイン、暗号資産購入資金及びマイニング事業への投資資金に充当します。
今回の資金調達スキームを選んだ理由は何ですか？	本スキームは、株価に対する一時的な影響を抑制しつつ資金調達をすることができ、かつ相当程度高い蓋然性をもって資金を調達できる設計となっているため、当社のニーズに合致していると考えております。 また、この他の資金調達方法と比較検討した結果、本スキームが当社の今後の成長にとって最善であると判断致しました。
本スキームの特徴は何ですか？	ディスカウントなしでの株式発行： 本新株予約権の行使価額は、行使の直前の修正日に先立つ3取引日の終値の単純平均値の100%と設定されているため、株価上昇時においてもディスカウントが限定的です。参照株価からディスカウントがなされない本新株予約権においては、市場株価から乖離が少ない価額での行使がなされることになるため、本新株予約権は、市場株価への影響をできる限り少なくし、既存株主の利益にできる限り配慮された設計となっております。また、本新株予約権においては、上記のとおりディスカウントがなされないことから、ディスカウントがある場合よりも行使により調達できる額が大きくなることが期待されます。 最大交付株式数の限定による希薄化率の限定： 本新株予約権の目的である当社普通株式数は5,400,000株で固定されており、株価動向にかかわらず、最大交付株式数が限定されております。そのため、希薄化率が当初予定より増加することはありません。 株価への影響の軽減と既存株主の利益への影響への配慮： 本新株予約権については、新株予約権の行使が複数回による段階的な行使が期待されるため、希薄化が即時に生じる普通株式自体の発行とは異なり当社株式の供給が一時的に過剰となる事態が回避されやすいと考えられます。また、本新株予約権の下限行使価額が設定されており、修正後行使価額が下限行使価額を下回る価額に修正されることはなく、株価が下限行使価額を下回る等の株価低迷の局面において、更なる株価低迷を招き得る当社普通株式の供給が過剰となる事態が回避されるように配慮した設計であり、本新株予約権の発行による既存株主の利益への影響を一定程度抑えることができると考えております。 株価上昇時の調達額増額： 本新株予約権は株価に連動して行使価額が修正されるため、株価が上昇した場合に資金調達額が増額されます。 譲渡制限： 本新株予約権買取契約において、本新株予約権の譲渡に関し当社の取締役会による事前承認を要する旨の譲渡制限が付される予定です。そのため、当社の事前承認がない限り、割当予定先から第三者へは譲渡されません。

Mac-House Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

４．本資金調達に関するＱ＆Ａ

質問	回答
割当予定先が行使により取得した株式を継続保有する可能性はありますか？	割当予定先であるEVO FUNDは、純投資を目的としており、本新株予約権の行使により取得する当社普通株式を原則として長期間保有する意思を有しておりません。出資者に対する運用責任を遂行する立場から、保有先の株価推移により適宜判断の上、本新株予約権の行使により交付を受けることとなる当社普通株式につきましては、基本的にマーケットへの影響を勘案しながら市場内で売却する方針です。
期間内に行使が完了しない可能性はありますか？	本新株予約権の設計上、割当予定先による行使を義務付ける条項は定められていないため、期間内に行使が完了しない可能性があります。 なお、本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合や、当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、調達資金の額が変動します。
希薄化の規模はどの程度ですか？	本新株予約権が全て行使された場合に交付される株式数は5,400,000株（議決権数54,000個）であり、2025年2月28日時点の当社発行済株式総数15,597,638株及び議決権数154,484個を分母とする希薄化率は34.62%（議決権ベースの希薄化率は34.96%）に相当します。
株式はいつ発行されますか？	本新株予約権の行使期間である2025年8月25日～2026年8月25日の間に、段階的に発行される予定です。行使にあたっては、割当予定先の裁量で、株価に対する一時的な影響を抑制しつつタイミングと数量が随時決定されます。
割当先が借株を行う予定はありますか？	今回の調達に伴い、EVO FUNDは、G Future Fund 1号投資事業有限責任組合より借株を行う予定です。この借株は、本資金調達に伴い株式を取得する投資家の、例えば以下のようなニーズに対応するためと聞いております。 ・投資家がまとまった数量の株式を、即座に特定の株価で取得したいと申し入れてきた場合 。 ・投資家が取得に際して、まとまった数量の株式を、一定期間中に取得価格を分散しながら取得したいと申し入れてきた場合。 本新株予約権の行使により交付される株式の供給を円滑に実施するための借株であり、本資金調達に関わる空売り以外を目的として当社株式の借株は使用しないと聞いております。また、本新株予約権の商品性に鑑みると、当社の株価が低い水準となることにはEVO FUNDにとっても収益合理性が認められないと考えられます。したがって、同社が故意に株価を下げるような行為を行うとは想定していません。

Mac-House Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD

Mac-House

本資料は情報の提供を目的としており、
将来の数値や成果を保証するものではありません。

Copyright(c) MAC HOUSE CO.,LTD